



KBF 関甲新学生野球 1部
2023 秋季リーグ戦

山梨学院大学戦
11-0
(7回コールド)

今季初
コールド
今季2度目
完封
負け

4連敗

写真 3回裏、安打で出塁した主将・小関(3年)



	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計	H	E
山梨大	1	0	7	1	1	0	1			11	10	0
常磐大	0	0	0	0	0	0	0			0	3	0

関甲新学生野球・秋季リーグ戦、第4節、常磐大学は山梨学院大学と対戦し、11-0(7回コールド)での大敗となった。

【9/10 白鷗大学野球場】常磐大学の先発投手は荒木嶺臣(現社3)。1回表、山梨学院大学の攻撃、四球と安打で無死1,3塁となりサードゴロの間に走者が生還し、先制点を奪われてしまう。3回表、四球と安打で1死1,3塁を作られ、続く5番に適時打を許し、0-2。その後、四球を出し満塁とし、8番に適時2塁打を打たれ、0-4。その後、投手を三浦彰浩(現社3)に交代するも2死1,3塁となり、1,2番に連続適時打を浴び4失点。この回、7点を失い0-8。三浦はその後、4回表、6番にソロ本塁打を打たれ、0-9。5回表には四球で出した走者をバントで送られ、適時打で

浴び、さらに点差を広げ0-10。6回表、投手は助川凱(現社2)に交代し、その回は打者3人に押さえるが、続く7回表、四球と安打でチャンスを作られ、犠牲フライで1点を奪われ11-0とされた。今季からコールドが導入され、7回10点差でコールドが成立。後がない常磐大学であったがその裏も打者3人に押さえられ、11-0(7回コールド)での敗北となった。

攻撃も3安打に沈み、チャンスを作るも最後の一本を出せなかった常磐大学とチャンスをものにし、畳みかける山梨学院の力の差があらわれた試合となった。

バッテリーは、荒木、三浦、助川-長瀬祥太(現社3)、飯塚大翔(6回、現社3)。(文・安達嵩斗)

星取表 (2023年10月2日現在)

	上武	山梨学院	白鷗	平成国際	松本	新潟医福	作新学院	新潟	関東学園	常磐	試合	勝	負	勝率
1 上武大		☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	8		1.000
2 山梨学院大	★		☆		☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	7	1	.875
3 白鷗大		★		☆	☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	7	1	.875
4 平成国際大	★		★		☆	☆	☆	☆	☆	☆	8	6	2	.750
5 松本大	★	★	★	★		☆	☆		★	☆	8	3	5	.375
5 新潟医福大	★	★	★	★	★		☆	☆	☆	☆	8	3	5	.375
7 作新学院大	★	★	★	★	★			☆	☆	★	8	2	6	.250
7 新潟大	★	★	★	★	★	★	★		☆	☆	8	2	6	.250
9 関東学園大	★	★	★	★	☆	★	★	★			8	1	7	.125
9 常磐大	★	★	★	★	★	★	☆	★			8	1	7	.125

予告

手に汗握る
最終戦!!

対・関東学園大学戦

10/7 12:00(土)

関東学園大学野球場

勝てば1部残留!
負けると入替戦!